

あれから7年、 子どもたちの体はいま

2018年 7月2日(月)

13:00 ~ 16:00 (12:30 開場)

@矯風会館 1F ホール

東京都新宿区 JR「大久保駅」北口徒歩2分 裏面に地図

東日本大震災から7年目を迎えました。

東京電力福島第一原発の事故はいまだに収束せず、
その放射能による健康被害に関する詳細な報告は
なかなか知ることができません。

ヒロシマでの被爆体験を、腹話術で子どもたちに伝える活動を
している ICAN メンバーの小谷孝子さん、

原子力発電の危険性を訴え、特に子供への内部被曝の増加に警鐘を
鳴らしている内藤新吾さんのおふたりから、お話をうかがいます。

子育て中の若い方たちの参加をお待ちしております。



講師：小谷孝子 (ICAN メンバー)

内藤新吾 (牧師) 裏面にプロフィール



チケット前売り：800円
当日：1000円

裏面にお求め方法

主催：(公財) 日本キリスト教婦人矯風会

TEL 03-3361-0934

講師プロフィール

小谷孝子さん

6歳の時に広島爆心地2.5kmで被爆。3才の弟が死亡。
6年後母親が白血病で死亡。
幼稚園教諭時代に、日本キリスト教団下丸子教会の
野田市朗牧師の薦めで腹話術で被爆体験を語り始める。

内藤新吾さん

日本福音ルーテル神学大学卒業。日本福音ルーテル稔台教会牧師
「浜岡原発を考える静岡ネットワーク」代表
NCC 平和・核問題委員会委員長
「原子力行政を問い直す宗教者の会」会員

チケットお申込方法

氏名・住所・電話番号・チケット枚数をご記入のうえ、
6月23日までにFAX：03-3361-1160にお申し込みください。

チケット代振込先：郵便振替 00150-6-12732

口座名義：財団法人日本キリスト教婦人矯風会東京部会

入金確認をもって申込完了といたします。

問い合わせ電話番号 03-3333-7983（北村）まで

会場地図

